

# みんなのギャラリー

市民の皆さんの投稿コーナーです。紙面の都合で、掲載できないことがあります。

福津市中央公民館  
 ☎43・2100  
 FAX43・2868

あじさいロード  
**地域婦人会だより**

ふくつの子カラ  
**第七回ボランティア交流会**

コールこすもす代表 江野幸子  
 こんにちは！福津市地域婦人会のコーラスグループ「コールこすもす」です。今回、一月三十日(日)ふくとびあの健康プラザで開催されました市郷育推進課主催の「ボランティア交流会」でのオーピングに出演し、ご参加の皆さんに聴いていただく機会にめぐまれ、たくさんの拍手をいただきました。

現在、福津市でボランティア登録されているのは九十六団体だそうです。その内の三十団体からの参加があり、パネル展示などでお互いにPRをし合い、また悩みなど出し合って交流を深めました。あいにく当日は寒く、雪が舞う天気でしたが、披露した曲の「ふるさとの四季メドレー」では、会場の皆さんも一緒に歌っていただきました。

毎年、福津市の文化祭で日ごろの成果を披露させていただく場を得ており、その他、年に一〜二回発表させていただく機会もあり練習に励む毎日です。また、二月からは七月十日の「福岡東地区コーラス交流会」に向けて、元気にまい進の予定です。

「あじさいロード」では、あじさいの苗を補植したいと思っています。苗をお譲りいただける方は、一報ぐだされれば幸いです。

問い合わせ 岩佐礼子 ☎42・6025

## 川柳 【福岡川柳会】

夢を追い夢をつないでいつも飢え  
 雪明り母の賀状を廻し読む  
 神谷 幸恵  
 西 和子  
 唇のかたち沈む春の月  
 西村かおる  
 冬ざれの街リストラの腕売りに  
 中原 恵子  
 時という流れに棒を突き立てる  
 藤本久美子

## 俳句 【太郎丸俳句会】

血統書持てるうさぎの耳透けて  
 松下 桂子  
 一人にて生きるにあらざ冬銀河  
 畑迫 義文  
 時雨るるや鴉重たく河渡る  
 真子 敬明  
 音信に京の底冷え知りつつも  
 木下 正治  
 瞬きの収まりつかぬ寒がらす  
 廣渡 久和  
 子に逝かれ妻に逝かれて冬耕す  
 廣渡 絹代

## 【玄鳥俳句会】

燃え落ちて一步近づくとどんと火へ  
 つるみつお  
 春隣目覚まし少し早めおく  
 小松富佐子  
 久方の霜焼けの指いと痒し  
 小野むつ子  
 稍より日々消えにけり鴉の贅  
 幣 ふじの

## 短歌 【わたつみ短歌会詠草】

寒風に背中丸めて手を合わす  
 瓜生 千秋  
 十日恵比寿の福笹持ちて  
 佐々木和彦  
 徐行してわれの車と擦れ違う  
 山形 四郎  
 自動車学校の生徒の真顔  
 水洩も混じりて居らむ朝一番に  
 こね上げし泥を轆轤にする

千大根しわと甘さを深くする  
 塩毛 信子

替わること出来ない痛み寒椿  
 納富 早苗  
 寒木に声の遊べる群雀  
 高見 元子  
 おほきな貌で大寒のきたりけり  
 田中二史子  
 競ふ子の土の汚れやあばれ独楽  
 西山 典子  
 早春の行き交ふ人のこえ弾む  
 黒岩貴美子  
 桶の水凍りて風の形知る  
 三上 貞子  
 合戦のありたる山の眠りけり  
 竜口 雅博  
 影といふ正直なもの白障子  
 薄 多佳子

## 【海】

洗濯物たたむしあわせ小正月  
 岡部ヤエ子  
 冬鴨や足になじまぬゴムの靴  
 凡 天  
 氣くばりの二十歳の晴れ着風類に  
 田中 照子  
 一切の迷い受け入れ滝凍る  
 上妻 松子  
 母からの小言きそうな冬籠  
 原田 令子

片言をしゃべる幼に応へつつ  
 男の行くなり孫想ふ初春  
 島崎 渚

かくしゃくたる九十歳の初春を  
 迎えられたる師よ百までも  
 浜崎 敏江  
 寒椿枝を切りすぎ蓄なし  
 赤き一輪葉かげに見ゆる  
 野部フクヨ  
 「折れそうな心で暮らしています」と言ふ  
 雪降りつつく越後の翁が  
 小林 陽子

今はただ健康のみを願うなり  
 年のはじめの神にむかいて  
 立野ゆかり

雪の舞う史跡めぐりに参加して  
 歩き回れば汗のうかびぬ  
 萱田 生子

## 【一般投稿】 — 短歌 —

八重桜咲ける妻籠の宿の道  
 老いて幼き母と歩みぬ  
 宗像 治子

## 【川柳】

どの党も似たようなものテレビ消す  
 長井すみ子  
 以下点々の訳知っているうふふ  
 東 浩子  
 お返しを三倍にするホワイトデー  
 久保山昭裕  
 いつからか頁めくれず指なめる  
 空谷 弘通  
 出す度に雛人形のしみが増え  
 林田恵津子  
 心地よい眠り起こされ雛出番  
 安井 秀子

## 【津屋崎俳句会】

梅開花此に彼処に都人  
 藤山 圭子  
 春泥を大きくまたいで福鈴の鳴る  
 鈴木 敦子  
 鍵落す紐にくぐられ春を待つ  
 小原 修子  
 紙の飛機盆梅越えて着地せり  
 中山ふじ子  
 山々に化粧ほどこす雪の花  
 室元松喜興  
 火の国の夜が沈みゆく寒窟  
 熊本 栄美  
 遍路ゆく一番札所の八艘絵馬  
 熊本 隼人

幽明を分かつて住職旅立ちぬ  
 七十路吾を彼岸に待つと  
 方木 修一

浄土では師と酒酌みてつれづれに  
 短篇論議交わし給うか  
 坂口 怜子  
 中国は軍拡挑発なぜやめぬ  
 アジアの平和 漁船が壊わす  
 宙 燃

あわ雪こな雪風に舞い  
 ポストに積り文を待つ  
 島田ハルエ

嵐山雪にすっぽり静かにて  
 川面の底に 水草流る  
 阿部 英子

老農が田畑守りし夕暮れの  
 過疎の村にも遅春の来る  
 徳永タミ子

蔵野の棚田の新米ほっこりと  
 炊きても一人の朝餉でありぬ  
 北富れい子  
 牽引台に身は委ねつつ窓外す  
 あぢさぬ濡らす雨を見て居り  
 徳田 敏子

## 【一般投稿】 — 俳句 —

六十年の友の縁は「ウエルテルの悲しみ」  
 語りし放課後の事  
 山本 夏枝  
 目を見張る何んと短きパンツかな  
 髪は胸まで高三の孫  
 野口 幸三  
 戦さ終え母七き我れにひなかざり  
 今も飾りて祖母と語らむ  
 三笠 道子  
 臥床にて白寿の義母に年暮る  
 光安 親夫  
 妻病みて庭の花壇は荒れにけり  
 香月 常彦  
 母親へ毛布を着せた夜の冷  
 初雪やベンギン歩きで朝の市  
 管田 隆一  
 初詣満艦飾の犬がゆく  
 徳永タミ子  
 母のふみ埋火のごと読み返す  
 寺嶋 幸子  
 冬日和かすかな日差し春近く  
 藤吉 綾子  
 山崎あつ子

# 囲碁・将棋大会



## 結果

### 市実年囲碁会1月例会

今回は、3月1日(火)、3月15日(火)午前10時  
 受付締切により、中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	猪俣 征雄	今泉 武志	牛垣 徹
2	魚住 洋二	松尾 文雄	笈 芳武
3	中嶋 孚	山崎 和夫	橋本 鉄一
4	木植 宏	森 豊	今和泉敏之
5	崎村 忠司	河野 吉幸	東 輝雄
6	花田 和彦	杉本 徹	須貝 健一
7	萩 忠志	森 研志	永島 和美
8	橋本 繁晴	武田 隆幸	塚屋 光男
9	船津 正和	松沢 千里	上野 象三
10	立野 義之	徳部 正美	立和田 實
11	荒巻 涉	坂井 衛	春藤 哲夫

連 東 輝雄 ☎43・1626

### 福津市将棋同好会1月例会

	1位	2位	3位
A	北原 靖三	石松 大明	春日 久行
B	村上 良明	西野寅太郎	神尾 弘行
C	川端 政憲	松原 恒二	出水平八郎
D	花田 友行	松田 滝男	轟木 良美
E	諫山 嘉刀	安藤 正次	仲上 徹志
F	石津 正一	仲村 輝美	羽倉 惠嗣

連 吉村 友行 ☎43・1308

### 福津市囲碁会1月例会

今回は、3月6日(日)午前10時受付締切により、  
 囲碁会を中央公民館和室で開催します。

	1位	2位	3位
1	菊地 猛⑦	今丸 眞⑤	松尾文雄⑤
2	福田 豊④	佐藤 弘④	田中英則④
3	千綿 勝④	横山 悟④	箱島 孝④
4	秦 利喜④	木植 宏③	中嶋 孚③
5	加村光義③	折目 實③	山崎和夫③
6	山口忠男③	萩 忠志②	小田邦彦②
7	林田健介②	宮川義信②	井手美德②
8	田中俊勝②	玉井國雄②	森 研志②
9	松沢千里②	肥高 勲②	花田 章②
10	満生忠雄①	橋本繁晴①	笹山輝雄①
11	坂井 衛④	塚崎国茂①	春藤哲夫①

連 今丸 眞 ☎43・3325

### 津屋崎囲碁同好会1月例会

今回は、3月27日(日)午前11時から文化会館で開催します。

	1位	2位	3位
A	菊池 猛①	魚住洋二⑤	石松良治⑤
B	船橋 雄④	花田孝一④	井本雅文④
C	林田健介③	伊藤重信③	宮川義信③
D	藤井義孝①	坂井 衛④	西住弘久①

連 永島 和美 ☎52・5610